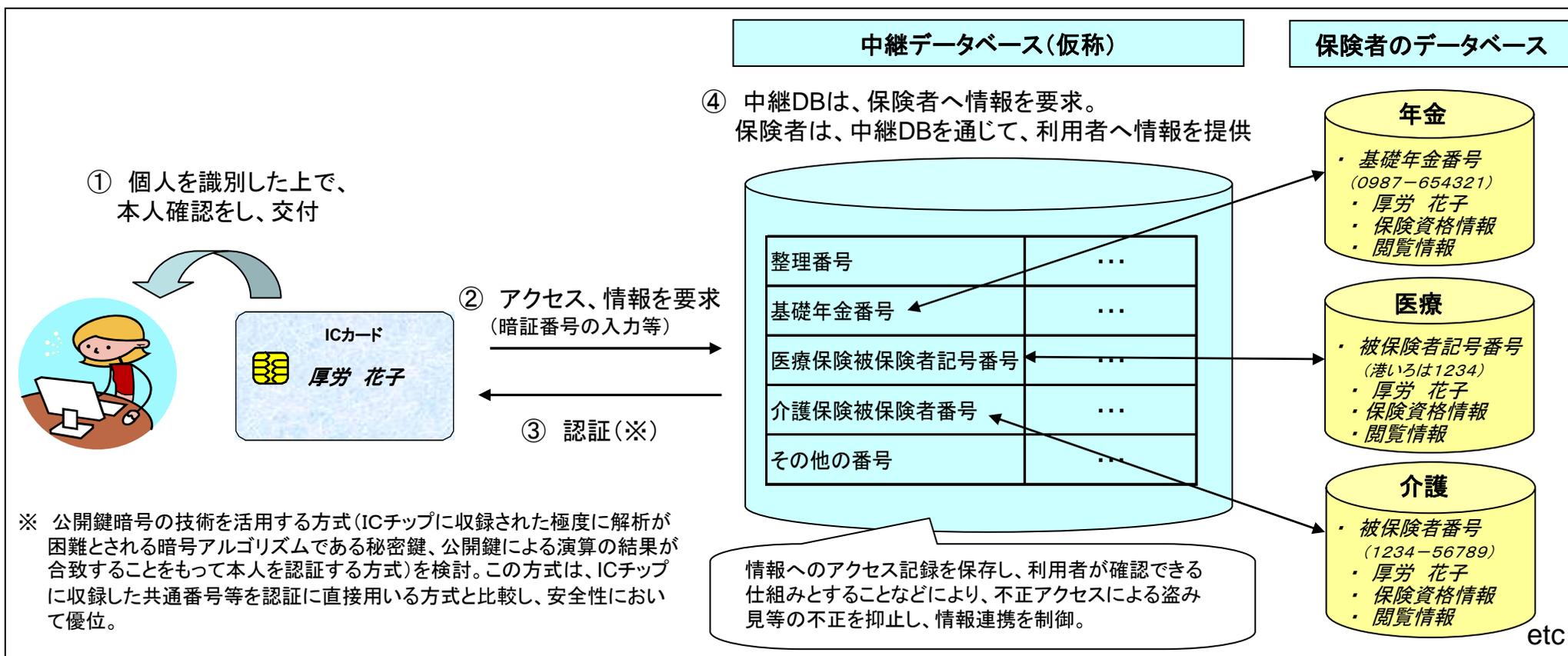


社会保障カード(仮称)の仕組みのイメージ(仮定)

- プライバシー侵害、情報の一元的管理に対する不安を極力解消しつつ、将来的な用途拡大に対応できる仕組みを目指す。
- 保険資格情報や閲覧情報は保険者のみが保有。中継データベース(仮称)は、被保険者記号番号といった必要最小限の情報を持つ(情報の集約を避け、情報連携を適切に制御できる仕組み)。
- 中継データベース(仮称)については、次世代電子行政サービス実現に向けた取組の中で検討されている「行政情報の共同利用支援センター(仮称)」等と重複して投資を行うことのないようにすることが必要。



※ 医療・介護分野においては、紙処理が混在することになるため、分野内でのみ活用する可視的な番号等の利用を検討(可視的な番号は、同意なく名寄せに使われる等のリスクを避けるため、分野内でのみ用いることが安全)。